

静岡平和資料館をつくる会 会報



—消えゆく戦跡—

「ベニヤ板製ボート特攻艇震洋」の格納庫（清水区三保）

人間兵器「震洋」特別攻撃隊

アジア太平洋戦争末期、本土決戦に備え日本軍は特攻兵器として、海軍に「震洋・・・太平洋を震かさせる意味(秘匿名マルヨン)」を、陸軍に「特攻艇㊦(マルレ連絡艇)」を開発した。震洋艇には一型艇と五型艇があり三保に配備されたのは、乗員2名、ロケット弾2発、220キロの炸薬艇首を持った五型であった。

三保の第136震洋隊・斉木(海軍中尉、当時23歳)部隊(総員235名、搭乗員46名と本部要員)は、特攻艇を22隻配備する予定で昭和20年6月10日、三保基地に配置された。

昭和20年6月、予科練が解体されると、各地に配属されていた残留隊員は震洋艇のコンクリートの格納庫と本土決戦壕(横穴)の建設に動員された。現在残されている格納庫は8基で、数基が撤去されている。

特攻艇搭乗員は、16歳で志願した予科練生であった。九死に一生もない水上特攻に選抜されたが、三保基地からは出撃せず一人の事故者もなく全員故郷に帰ることが出来た。なお、これまで震洋艇の格納場所は「掩盖壕」「格納壕」と記載されていたが、当センターでは元隊員の使用する「格納庫」と記載している。

※「特攻平和観音像」が、静岡市葵区北277-1曹同・瑞雲寺に奉納されている。高さ60センチ 製作者・日展会員加藤潮光氏
(展示部・浅見幸也)

〈目次〉

2025年度 総会報告	2～
新会員紹介	3～
窓口スタッフ学習会(兼親睦会)	4
企画コーナー展示イベント 紙芝居「千代子さんの戦争体験」 の実演	4
続・センター資料の水害と 救済作業について	5
私のおすすめ この1冊 「コンビニたそがれ堂」より 「天使の絵本」	5
企画コーナー展示のお知らせ 『験のインパール』 白骨街道を生き抜いた記録	6
映画紹介『リアル・ペイン』	6
平和川柳	6
「静岡平和資料館をつくる会」 のあゆみ	7～
平和当番日誌	11
インフォメーション	11
寄付金・カンパお礼	11
静岡空襲DVD制作を振り返る	12

●静岡平和資料センター●

開館日 金・土・日 11:00～16:00

開館情報はホームページをご覧ください。または来館時にお電話でご確認ください。

ホームページ <http://www.shizuoka-heiwa.jp>
静岡平和資料センター ⇒ 検索

右のQRコード読み込みでもホームページが開きます





■□■インフォメーション■□■

◆戦後 80 年展示「私たちの街の戦争と空襲—そして今」のご案内 (参加無料・どなたでも)

○日時：2025年8月13日(水)～8月17日(日) 10:00～16:00

○会場：静岡市民ギャラリー(静岡市役所本館1階 静岡市葵区追手町5番1号)

○内容は センターだよりをご覧ください

☆ボランティアスタッフを募集しています。会期中の受付、8/12 や 8/19 の設営・撤収をお手伝い

くださる方はご連絡ください。TEL/FAX 054-271-9004 メール shizuoka-heiwa@nifty.com

TEL はセンター開館時・金土日 11-16 時にお願いします。

☆静岡平和資料センターは8月15日(金)～17日(日)休館となります。

◆2025年「平和パネル展」にもどうぞ、お出かけください (共催・静岡市)

○7月1日(火)～22日(火) 清水区役所

○7月29日(火)～8月13日(水)葵区役所

○8月15日(金)グランシップ

○8月18日(月)～28日(木)駿河区役所

会報 明日へ・・・ No134

発行日 2025年6月6日

編集・発行

静岡平和資料館をつくる会
〒420-0858

静岡市葵区伝馬町10-25
中央ビル'90 2F

Tel/Fax 054-271-9004

編集：佐野(明)・鍋倉・林・矢田・山田(育)